

年頭のあいさつ



ルールを守って安全な交通環境を

一般社団法人 山形県自家用自動車協会
会長 平井康博

招く等、政治はこれまでのように自公両党の思惑だけでは動かず、政治状況は不安定なものとなっています。世界的には各国で右派勢力が台頭し、民族主義的な主張や排他的な風潮が蔓延してきており、第二次世界大戦前の混沌とする海外情勢と相似してきているのではないかと一抹の不安を抱いております。県内は、昨年7月25日から

また、被災地の一日も早い復旧と本年が自然災害のない穏やかな一年であることを願っております。さて、交通ルールの運用が大きく変わってきております。特にこれまでも事故にならない限りは手つかずになっていた自転車運転者に対する取り締りが厳格になりました。酒酔い運転、スマホのながら運転による自損事故や歩行者

等との衝突等重大事故に発展する恐れのある行為は厳しく取り締まられることになり、県内でも検挙されております。何においても道路上で自分の身を守るものは、交通ルールの厳守であります。自動車、自転車など運転中であれ歩行中であれルールを破れば交通事故という代償が待っています。互いに交通ルールを守り交通環境を安全なものにしていかねばなりません。道路環境の整備や運転に対する自動ブレーキなどの補助装置は、年を重ねる毎に充実してきておりますが、最後に残されたものは、ヒューマンエラーを自身が最小に抑えていくことだと思います。当協会は、関係機関・団体と連携を図りながら、自家用自動車の点検整備の促進や子どもと高齢者の事故防止を重点に、思いやりのある安全運転の広報啓発に努めると共に、不慮の事故への備えとなる自動車共済への加入を自動車ユーザーに働きかける等本年も安全で快適な車社会の実現に向けて事業活動に取り組み所存であります。

終わりに皆様の益々の健康勝を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶と致します。

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から当協会の運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、衆議院議員選挙が行われ、結果、裏金問題で自民党が大敗し、野党の躍進を

の豪雨により、最上地方や酒田市において河川の氾濫や土砂崩れにより多くの住宅、田畑が被災し、未だ多くの方が避難生活を続けておられます。連日の大雨災害の中で殉職された警察官、市民など、亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

何においても道路上で自分の身を守るものは、交通ルールの厳守であります。自動車、自転車など運転中であれ歩行中であれルールを破れば交通事故という代償が待っています。互いに交通ルールを守り交通環境を安全なものにしていかねばなりません。道路環境の整備や運転に対する自動ブレーキなどの補助装置は、年を重ねる毎に充実してきておりますが、最後に残されたものは、ヒューマンエラーを自身が最小に抑えていくことだと思います。当協会は、関係機関・団体と連携を図りながら、自家用自動車の点検整備の促進や子どもと高齢者の事故防止を重点に、思いやりのある安全運転の広報啓発に努めると共に、不慮の事故への備えとなる自動車共済への加入を自動車ユーザーに働きかける等本年も安全で快適な車社会の実現に向けて事業活動に取り組み所存であります。

山形県 自家用自動車

定価1部・20円
会員の構成料は会費に含まれております
発行所
山形市大字漆山字行段1422
一般社団法人
山形県自家用自動車協会
電話023(686)3951
https://www.y-jikayo.or.jp
印刷・練馬林印刷所

謹賀新年
令和7年新年号



安全で安心な環境に優しい「クルマ社会」の実現に向けて

東北運輸局山形運輸支局 支局長 平川 清彦

新年あけましておめでとうございます。令和7年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。貴協会におかれましては、日頃より自家用自動車の健全な発展と交通安全思想の普及に努められ、また、

売台数が減少するなど、社会経済や国民生活に大きな影響を与えた一年でした。ここにきて、これらマイナス要因も解消が続き、受注も堅調で前半の販売実績を上回り始めています。新しい時代の移動手段確保を目指す動きもありますが、現時点で求

ビス(OSS)について、電子車検証を用いることで、スマートフォンからも申請を行うことができるようになり、また、全ての手続きについて、申請の進捗状況の確認ができるようになりました。さらに、年度末における車検の混雑緩和等を目的に、本年4月より、車検期間満了

輸脱落事故防止に向けた取り組みを行っております。昨年の発生件数は2件と前年に比べて大きく減少したところですが、引き続き、車輪脱落事故防止に向けた自動車ユーザー等の指導啓発などの取り組みを強化してまいります。また、自動車ユーザーの保守管理意識の高揚を促す「自動車点検整備推進運動」や「不正改造車排除運動」を皆様と連携のうえ積極的に展開して参りますのでご協力をお願いいたします。

国土交通行政の円滑な推進に、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年は振り返りますと、国際情勢の悪化による物価の高騰に加え、自動車メーカーの認証不正に伴う生産出荷停止や自然災害による生産拠点の被災があり、自動車販売

められているのは、なお自家用自動車です。山形県は、一世帯当たりの自動車保有台数が、全国第3位と常に上位にランクされるなど、自動車は県民の日常生活や経済産業活動に必要な不可欠なものとなっています。さて、昨年10月から、変更登録及び一時抹消登録のワンストップサー

日の2か月前から車検が受けられるようになります。今後も申請者の方々の負担軽減や利便性向上に向けて取り組んで参ります。現在、山形運輸支局では大型車の車輪脱落事故防止キャンペーンを展開し、大型車のホイールボルト、ナットの脱落や緩み等による車

結びに、一般社団法人山形県自家用自動車協会並びに会員皆様方の益々のご健勝とご活躍を心より祈念して、新年の挨拶といたします。



「交通事故防止に御協力を」

山形県警察本部 本部長 水庭 誠一郎

令和7年の新春を迎え、一般社団法人山形県自家用自動車協会の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。日頃から、貴協会におかれましては、交通安全のみならず、警察業務の各般に渡りまして、御理解と御協

一方で、発生した交通事故死傷者を減らして、幹線道路(国道、県道、高速道路)での死者が約8割、高齢者の死者(運転者、同乗者、歩行者)が約7割、四輪乗車中(運転者、同乗者)

ものの、未だ半数近くの運転者が横断歩行者がいても停止しない状況にあります。横断歩行者保護意識の浸透には、ドライバーと歩行者双方の意思疎通が大事です。現在、県警察各交通関係機関・団体の皆様とともに、交通安全啓発活動に努めてまいります。

貴協会におかれましては、引き続き、自家用自動車に係る交通安全の普及や交通安全ありがとう運動等の各種交通安全啓発活動に御協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、貴協会の益々の御発展と会員皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

一般社団法人全国自家用自動車協会
会長 藤野 公孝

新年あけましておめでと
うございます。
令和7年の輝かしい新春
をご家族の皆様とともに
お健やかに迎えたいこと
をお慶び申し上げます。また、
口頭より当協会の運営に対
しまして、特段のご支援ご
協力を賜っておりますこと
に、衷心より感謝申し上げ
ます。
御高承の通り、昨年は元
日に発生した能登半島地震
その後の台風、豪雨などの

災害により多くの尊い命が
奪われ、いまだに多くの方
が被災し今もなお厳しい生
活を余儀なくされておられ
ます。
改めてお見舞い申し上げ
ます。
さて、国内の経済動向を
みますと春闘賞上げ率が33
年ぶりの高水準となり、景
気も上昇傾向の感があるも
のの円安、物価の高騰など
により、国民生活は大変厳
しい状況にあります。

一方、自動車業界におい
ては世界的な半導体不足
や部品調達難、認証不正問
題の影響、日本の人口減少
や少子高齢化、若者の自動
車離れ、都会への人口集中
などが原因として、202
4年度上半期の国内新車登
録台数は、前年同期比%
6%減の約216万7千台
とコロナ禍前の水準には及
ばない状況です。
また、政府では引き続き
2050カーボンニュート

「交通安全ありがとう運動」展開中

山形県警察

山形県警察は、歩行者
が横断歩道で止まってく
れた車にお辞儀などで感
謝の気持ちを伝える「交
通安全ありがとう運動」
を展開しています。

横断歩道は歩行者が最
優先です。ドライバーの
皆さんは、横断歩道で渡
ろうとしている歩行者を
見かけた時は一時停止し、
手などで歩行者に横断を
促しましょう。
歩行者もドライバーも
互いに交通ルールを守り、
「歩行者に日本一やさし
い山形県」を目指しまし
よう。

山形県に根付く
交通安全ありがとう運動

横断歩道は歩行者が最優先！
「横断歩道で止まってくれた車にお辞儀などで感謝の気持ちを伝える」

交通安全
ありがとう

歩行者に日本一やさしい山形県

山形県警察

令和7年使用「交通安全年間スローガン」決まる！

全日本交通安全協会

一般財団法人全日本交通安全協会は、交通安全活動などに活用される「令和7年使用交通安全年間スローガン」を決定し公表しました。交通安全年間スローガンは、全日本交通安全協会と毎日新聞社の共催で毎年募集しているもので、今年で60回目となります。多数の応募作品の中から、内閣総理大臣賞（最優秀作）3点、内閣府特命担当大臣賞（優秀作）3点、文部科学大臣賞（優秀作・子ども部門のみ）1点、警察庁長官賞（優良作）3点と全日本交通安全協会会長賞（佳作）7点が選ばれました。最優秀作の内閣総理大臣賞は次の3点で、令和7年春と秋の全国交通安全運動で使用使用するポスターのスローガンになります。

- ☆ 一般部門A（運転者（同乗者を含む）に呼びかけるもの）
守ろうよ チャイルドシートで 子の未来
- ☆ 一般部門B（歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの）
危険です ながらスマホで 踏むペダル
- ☆ 子ども部門（子どもたちに交通安全を呼びかけるもの）
青だけど 自分の目で見て たしかめて

ラルの目標達成を目指し、
商用自動車のEV化、バッ
テリー交換式EV開発、V
2H充放電設備や水素ステ
ーションの整備等の充実に
てんインフラ等導入促進補
助金、EVに対する税金優
遇措置など、国内のEV普
及等に取り組んでおり、今
後の自動車業界ひいては日
本経済の行方にとって、予
見不可能な極めて危うい変
革の時代に突入したと言っ
ても良いと思われまます。
このような不透明・不確
実な状況を見据え、全自協
といたしましては皆様と相
協力しながら、従来から実
施しております自動車点検
整備推進運動不改正改造車

の排除運動等の運輸警察
行政協力諸活動はもとより、
会員の皆様からの要望が強い
「自動車の保管場所現地
調査・登録申請代行」、「自
動車共済・自賠責共済」な
どの事業にかかる情報収集
と分析を拡充するとともに
国土交通省等関係行政機
関への要望活動を強化して、
本年も会員の皆様のお役に
立てるようさらなる努力
を尽くす所存でありますの
で、何卒よろしく、お願い申
上げます。
結びに、改めて各自家用
自動車協会のご発展と職員
皆様方のご健勝とご多幸を
祈念いたしまして、私のご
挨拶といたします。

一般社団法人 山形県自家用自動車協会

協会事業のご案内

協会は、地域社会における自家用自動車の健全な発展に寄与し、会員皆様の利便性の向上を図り、自動車に関わる事業を通じて交通秩序の確立と安全意識を高揚するため、次の業務を執行しております。
会員皆様のご理解・ご支援よろしく、お願いいたします。

◆主な業務

- ◎自動車検査・登録申請届出等の取扱い
- ◎整備管理者選任届出等の指導、助言
- ◎整備管理者等講習会の開催
- ◎優良整備管理者・同選任事業所の顕彰
- ◎自家用自動車の複雑・加重で不公平な税負担の是正要望
- ◎道路の整備改善に関する陳情・誓願
- ◎自動車何でも相談・交通事故相談の受付
- ◎機関紙「山形県自家用自動車」の発行
- ◎会員への自動車関連情報の提供等

◆受託事業

- ◎国土交通省から
- ◎自賠責共済（保険）無保険車への加入指導
- ◎山形県から
- ◎自動車保管場所現地調査
- ◎自動車税（環境性能割・種別割）の申告書受付
- ◎県証紙・県税証紙の売捌き
- ◎東北自動車共済協同組合から
- ◎自動車共済（保険）の取扱い
- ◎自動車損害賠償責任（保険）の取扱い
- ◎山形県ハイウェイ事業協同組合から
- ◎高速道路料金後納制度利用事業への支援
- ◎物資共同購買事業への支援
- ◎その他協力支援事業
- ◎自動車関係諸団体と共催
- ◎自動車の点検整備・不正改造防止等の各種運動
- ◎交通安全・交通事故防止の啓発広報活動

謹んで新春のお慶びを申し上げます
会員皆様の益々のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。
今年もよろしく、お願い申し上げます
令和7年 元旦



山形県自家用自動車協会

事務局長	宇野 謙二
監事	徳武 阿彌
理事	田部 山田
専務理事	藤谷 信榮
理事	齋藤 眞一
理事	小笠原 吉敏
理事	鈴木 徳大
理事	土屋 村
理事	後藤 完
副会長	平井 康博
会長	藤野 公孝

山形支部

事務所 山形市大字漆山字行段一四三番地 山形県自動車会館内
電話 (023) 886-3377
支部長 高橋 文裕

県南支部

事務所 米沢市窪田町窪田三二五番地の五
電話 (023) 37-3345
支部長 平 弘幸

西置賜支部

事務所 長井市幸町十三番一号（西置賜自動車会館内）
電話 (023) 84-1327
支部長 海老名 修

最上支部

事務所 新庄市大字鳥越字玉の木九八六番地の一
電話 (023) 9850
支部長 黒坂 健彦

酒田支部

事務所 酒田市日の出町一丁目番地の六
電話 (023) 24-3367
支部長 今井 司

メール配信でつながる警察との新しい関係 「事業者版やまがた110ネットワーク」登録のご案内

山形県警察本部

県警察では、平成27年5月から「やまがた110ネットワーク」により県民への安全安心情報の提供を行っています。活動に伴う犯罪被害の防止、事業活動を通じた防犯活動の活性化を図るため、「事業者版やまがた110ネットワーク」では、

事業者版やまがた110ネットワーク 登録のご案内

～メール配信でつながる警察との新しい関係～

3つのメリットと登録方法

- 登録がつかえる**
登録した事業者は、警察から安全安心情報や防犯活動の最新情報などをメール配信で受け取ることができます。
- 情報がつながる**
登録した事業者は、警察から安全安心情報や防犯活動の最新情報などをメール配信で受け取ることができます。
- 登録方法**
インターネット上で登録する。空メールを送信してください。

登録方法

- 警察へ登録を依頼する
警察にメールアドレス等の登録情報をご提供ください。
- インターネットで登録する
yplb@ox03.asp.cuenote.jp に空メールを送信してください。
※右のQRコードからメールアドレスを読み込みます。

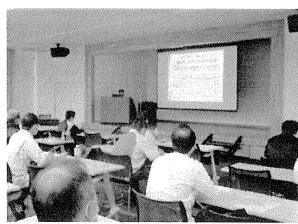


整備管理者等講習会を開催 延べ306名が受講

県自家用自動車協会

山形県自家用自動車協会は、10月から11月の間に計4日、令和6年度整備管理者等講習会を開催しました。

警察本部交通企画課の担当官を講師に迎え、4日間で306名の方が受講されました。山形運輸支局担当官からは、整備管理者を選任、変更した場合の手続きや、日常点検時の留意事項、近年、東北地方で多発している大型車の車輪脱落事故防止のため、適切なタイヤ交換の実施方法と交換後の保守管理の徹底についての説明がありました。また、自乗車のスマホ・酒気帯びの罰則強化など道路交通法の改正点についても説明がありました。



【令和6年度整備管理者等講習会開催状況】

開催日	開催場所	受講者数
1 10月9日(水)	山形県トラック総合会館	75名
2 10月17日(木)	山形県トラック総合会館	84名
3 10月24日(水)	いろいろの里の花ホール	67名
4 11月7日(木)	山形県トラック総合会館	80名

田川支部
千九七〇〇一四
鶴岡市大寺町一丁目十四号
電話(〇三三三) 一五二二(代) 正

東北自動車共済協同組合 山形県支部
千九〇二二六一
山形市大字漆山字行段一四三番地 山形県自動車会館二階
電話(〇三三三) 三九五二(代) 支部長 平井康博

東北自動車共済協同組合 山形県サービスマスター
千九〇二二六一
山形市大字漆山字行段一四三番地 山形県自動車会館二階
電話(〇三三三) 六二八六(代) 所長 片山秀明

山形県ハイウェイ事業協同組合
千九〇二二六一
山形市大字漆山字行段一四三番地 山形県自動車会館二階
電話(〇三三三) 888二二〇(代) 理事長 小伊藤 副理事長 藤原 事務局長 藤原 副事務局長 小伊藤 喜哉

第46回 理事会を開催

県自家用自動車協会

令和6年11月20日、山形市のヤマコーホールにおいて、山形県自家用自動車協会第46回理事会が開催されました。

この度の理事会は、令和6年度上半期事業報告並びに収支計算承認、正会員の入会承認などを審議するため開催したもので、理事、監事10名が出席しました。



大風亨氏山形市の入会承認について提案がなされました。

議案は満場一致で承認され、その後事務局から整備管理者等講習会の開催結果などについて報告がなされました。

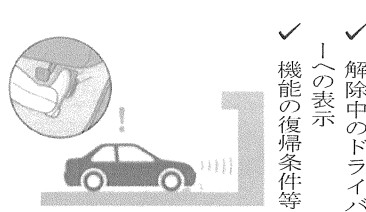
日本発、ペダル踏み間違い事故防止技術が世界スタンダードに!

国土交通省

令和6年11月12日から15日にかけてスイスジュネーブで開催された国連の自動車基準調和世界フォーラム(WP.29)において、日本発の安全技術である「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」が国連基準化され、今後の世界スタンダードとして認められました。

「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」は、高齢ドライバー等によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故を減らすため、

- ✓ 踏み間違いや前方の障害物を検知し、衝突を防止する装置で、対象車両は、乗車定員9人以下のAT乗用車となります。
- ✓ なお、装置の主な要件は次のとおりです。
- ✓ 急発進抑制に関する要件
- ✓ 障害物の手前1.0m及び1.5mに停止状態でアクセルをフルストロークまで踏み込んだ場合に、次のいずれかであること
- ✓ 障害物に衝突しないこと
- ✓ 障害物との衝突時



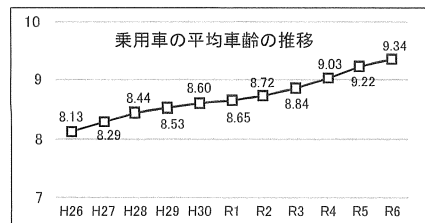
- ✓ ドライバーへの警報に関する要件
- ✓ 視覚警報が必須等機能の解除条件に関する要件
- ✓ 解除中のドライバへの表示
- ✓ 機能の復帰条件等

乗用車の平均車齢9.34年 32年連続して高齢化

自動車検査登録情報協会

平均車齢とは、自動車初年度登録してからの経過年数の平均であり、人間の平均年齢に相当するものです。新車販売台数が減少し、自動車が高齢化が進み、逆に新車販売台数が増加し、高齢自動車のスクラップや海外輸出が増えたと若返るとされています。

一般財団法人自動車検査登録情報協会によると、令和6年3月末の車種ごとの平均車齢は次のとおりです。



乗用車(軽自動車を除く)は9.34年で、前年より0.12年延び、32年連続して高齢化しています。

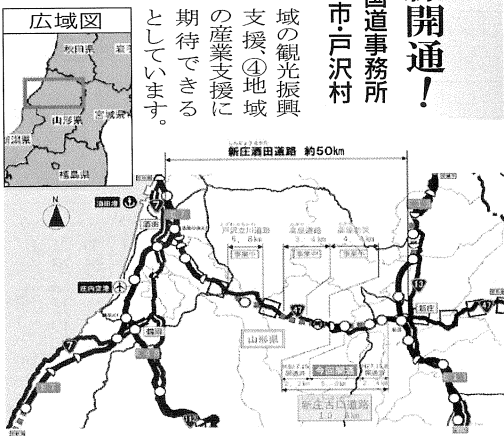
普通貨物車は12.80年で、前年より0.15年の延び、小型貨物車は11.41年で、前年より0.15年延びています。

国道47号新庄酒田道路 新庄古口道路10.6kmが全線開通！

山形河川国道事務所
山形県新庄市戸沢村

国土交通省が事業を進めてきた高規格道路新庄酒田道路の一部を構成する国道47号新庄古口道路のうち、新庄市大字升形、戸沢村大字津谷までの延長6.0kmが12月7日に開通しました。

これにより、新庄古口道路（新庄市大字本合海、戸沢村大字古口間）10.6kmが全線開通となりました。



資料：山形河川国道事務所

大雪時の大型車立ち往生防止対策について

～今冬の立ち往生の発生を抑制するために～

国土交通省

国土交通省では、令和2年12月以降の大雪により、関越道、北陸道等において多くの大型車両が立ち往生し、大量の車両が路上に滞留する事象が発生したことを踏まえ、今冬も、①車両対策、②運送事業者対策、③荷主対策を3つの柱とする大雪時の立ち往生防止対策を実施しています。

フラットホームで確認する。
チェーンの携行、立ち往生する前の早めの装着
運送事業者対策
年末年始の輸送等に関する安全総点検では実施項目「大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認する。

判断された場合は行政処分の対象となります。

より、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控える。

①車両対策（自動車ユーザー）
積雪凍結路では、必ず適切な冬用タイヤを装着
運行前に冬用タイヤの溝深さが新品時の50%以上残っていることを、

②運送事業者対策
年末年始の輸送等に関する安全総点検では実施項目「大雪に対する輸送の安全確保の実施状況」について、重点的に確認する。

③荷主対策
大雪などの異常気象による突発的な事象で、送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を確認する。

運送事業者は、大雪時等の輸送で安全の確保に支障を生ずるおそれがあるときは、運行中止等の指示や、冬用タイヤの溝の深さや滑り止めの措置について確認する。

雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-

雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-

雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-

雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-

雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-

雪道での立ち往生に注意！
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-

https://www.jma.go.jp/bosai/snow/

10月の県内新車新規登録・届出台数

☆10月総合計で3.7%減

（2ヶ月ぶり減少）

東北運輸局

山形県の10月における新車新規登録・届出台数は総計4,145台で前年同月比3.7%減と2ヶ月ぶりに減少しました。登録自動車は合計で1.9%増と5ヶ月ぶりに増加しました。乗用車全体では3.9%増と2ヶ月連続の増加となり、内訳として普通車が12.6%の増加、小型車は6.4%の減少となつています。貨物車全体は13.4%の減で2ヶ月連続の減少、その他のバス、特種等についても

別表 10月新車新規登録・届出台数

	6年10月	前年同月	増減	率	
登録自動車	乗用	1,253	1,113	140	12.6
	普通	883	943	▲60	▲6.4
	小型	2,136	2,056	80	3.9
	貨物	207	239	▲32	▲13.4
	その他	79	82	▲3	▲3.7
計	2,422	2,377	45	1.9	
軽自動車	1,706	1,857	▲151	▲8.1	
小型二輪車	17	69	▲52	▲75.4	
総合計	4,145	4,303	▲158	▲3.7	

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

11月の県内新車新規登録・届出台数

☆11月総合計で7.1%減

（2ヶ月連続減少）

東北運輸局

山形県の11月における新車新規登録・届出台数は、総計4,036台で前年同月比7.1%減と2ヶ月連続の減少となりました。

○登録自動車は合計で8.3%減と2ヶ月ぶりに減少、乗用車全体では4.5%減と3ヶ月ぶりに減少し、内訳としては普通車が4.7%の増加に対し、小型車は17.6%の減少となつています。貨物車全体では25.9%減と3ヶ月連続の減少、その他のバス、特種等についても

別表 11月新車新規登録・届出台数

	6年11月	前年同月	増減	率	
登録自動車	乗用	1,277	1,220	57	4.7
	普通	697	846	▲149	▲17.6
	小型	1,974	2,066	▲92	▲4.5
	貨物	183	247	▲64	▲25.9
	その他	88	134	▲46	▲34.3
計	2,245	2,447	▲202	▲8.3	
軽自動車	1,776	1,865	▲89	▲4.8	
小型二輪車	15	31	▲16	▲51.6	
総合計	4,036	4,343	▲307	▲7.1	

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。
2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値



お得な掛金で 安心 充実の補償！ スピーディな事故対応！

あなたのために、そしてみんなのために
互いに、たすけあうそれが自動車共済です

50th Anniversary
明日につながるいい関係
東北自動車共済
TOHOKU AUTOMOBILE MUTUAL AID ASSOCIATION



お問い合わせ・お申し込みは

- 一般社団法人 山形県自家用自動車協会
- 山形市大字漆山字行段1422 ☎ 023(686)3951
- 山形支部 ☎ 023(686)3737 ● 県南支部 ☎ 0238(37)3245 ● 西置賜支部 ☎ 0238(84)1327
- 最上支部 ☎ 0233(22)9850 ● 酒田支部 ☎ 0234(24)3367 ● 田川支部 ☎ 0235(24)1522
- 関連代理所 山形県ハイウェイ事業協同組合 ☎ 023(686)2320